令和8年度　人間生活文化研究所

大学院生研究助成（A）　研究計画調書

応募者情報

応募者氏名	（フリガナ）		
	（漢字等）		
学 籍 番 号			
所属（専攻）	専攻　博士後期課程		
学　　年	年		
所属キャンパス	キャンパス		
携帯電話番号			
Ｅ－ｍａｉｌ	@cst.otsuma.ac.jp		
指導教員氏名	（漢字等）		
副指導教員氏名	（漢字等）		

応募課題情報

研究課題名 （40文字以内）						
科研費審査区分 （小区分コード）						※公募要項〔別紙2〕を参照の上、 数字5桁を記入してください。
小区分名称						
キーワード （3語以内）						

申請金額

総　額（円）	仕様内訳　※千円単位ではありませんのでご注意ください				
	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他経費

1　研究目的（11 ポイントで記述してください。）

本研究の具体的な目的について、適宜文献を引用しつつ**1 頁以内**で記述してください。
特に以下の項目について、具体的かつ明確に記述してください。
(1)本研究の学術的背景
(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性
(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか

２　研究方法（11 ポイントで記述してください。）

研究方法・研究計画について、月ごとの計画に分けて、焦点を絞り、具体的かつ明確に１頁以内で記述してください。また、研究計画を遂行するための研究体制について、具体的な役割、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

３　人権の保護及び法令等の遵守への対応

本研究を遂行するに当たって、以下のような研究について、指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、**１頁以内**で記述してください。

■相手方の同意・協力を必要とする研究
■個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究
■生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究

※個人情報を伴うアンケート調査、インタビュー調査、行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述してください。

研究業績　※1 頁以内で記述してください。特に記述するものがない場合は、空白のまま提出ください。

本欄には、応募者が過去に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から発表年次を過去にさかのぼり、順に通し番号を付して記入してください。**なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。**

たとえば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻号、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。

以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても構いません。**著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても構いません。なお、申請者には●を付してください。**

研究経費の明細

記入にあたっては、公募要項【別紙1】を参照してください。

設備備品費の明細			
品名・仕様	数量	単価（円）	金額（円）
		計（円）	

設備備品費の必要性

設備備品費の必要性について600字以内で記述してください。

消耗品費の明細			
品名	数量	単価(円)	金額(円)
		計(円)	

消耗品費の必要性

消耗品費の必要性について600字以内で記述してください。

旅費の明細			
事項	数量	単価(円)	金額(円)
		計(円)	

旅費の必要性

旅費の必要性について600字以内で記述してください。

人件費・謝金の明細			
事項	数量	単価（円）	金額（円）
		計（円）	

人件費・謝金の必要性

人件費・謝金の必要性について600字以内で記述してください。

その他経費の明細			
事項	数量	単価(円)	金額(円)
		計(円)	

その他経費の必要性

その他経費の必要性について600字以内で記述してください。